

一般質問 (3)

国保料の大幅引き上げはやめよ！
繰入金継続で保険料軽減を図れ

藤岡 智明 (共産)

質問 国民健康保険の都道府県化により、試算では本市の国保料は幾らになるのか。また、法定外繰入金についての今後の対策は。

答弁 市民1人当たり15万5千449円、平成28年度と比較して44・7%増。平成30年度の法定外繰り入れは、国の要請を勘案して適切に算定する。平成31年度以降は国からの赤字(法定外繰り入金)解消・削減計画策定に向けた通知を踏まえ、適切に対応する。

意見 平成30年度は市独自の繰り入れ対応はするが、平成31年度以降は繰入金を解消・削減すると理解する。都国保連協に示された資料

質問 本市の低所得者層は1.5倍、1.6倍の値上げになる。法定外繰り入れは継続すべきだ。保険料を決定するのは市だ。国保料算定は市民の生活実態を踏まえて行え。

答弁 平成30年度予算編成に当たって、一般財源の負担軽減を進めることで緊縮財政を求めているが、市民生活への影響は。

施設増設と指導員の処遇改善で
安心して預けられる学童保育に！

大竹 あつ子 (共産)

質問 学童クラブの定員超過でけんかやトラブル、けがが心配される。増設の検討状況について伺う。指導員の役割は重要だが、今後、会計年度任用職員制度の施行により、雇いどめや処遇後退が心配される。見解は。

答弁 増設については田無第三学童クラブ開設や(仮)第10中内にスペースの確保を予定。育成支援の重要な役割を果たす指導員の処遇改善については国の動向を踏まえ職員団体と協議する。

意見 施設の計画的な増設が必要。経験のある指導員が長く続けられるように正規職員としての位置づけも検討し、指導員と十分協議

質問 して進めるよう求める。困るのは病院や役所の窓口だ。安心して窓口に来てもらうためには目に見える形で支援を行う必要があるが、市の取り組みは。

答弁 性別の記載欄を自由記載にしたり、新入職員に向けた研修の実施を予定。

質問 特別養護老人ホームの増設は待ったなし。新規増設を！

保谷 清子 (共産)



各種講座の開催などさまざまな事業を実施している公民館

質問 特別養護老人ホームの待機者は、10月現在で1千205人になる。市のアンケート調査では、特別養護老人ホームなどの施設を増やすことを求めるといふ答えが、46・8%と最も多い。介護離職等が起こりかねない。新規増設が必要だ。第7期事業計画での検討状況は。

答弁 居室サビスや施設整備の状況等を踏まえ、施設整備の見込みを行う。地域包括ケアシステム

若者支援の拡充と専門部署の
設立を！奨学金制度を復活させよ

森住 孝明 (共産)

質問 若者の就労支援について、具体的な取り組みと各部署や関係機関との相談体制をどのように行っているか伺う。

答弁 ハローワークの専任コーディネーターと連携を図り、相談者と目標を設定して、同意の上で支援計画を立て支援を行う。

意見 専門的な支援が必要である。庁内部署との連携にしっかりと取り組み、青年対策の専門部署の設置を強く求める。

質問 奨学金について、国は平成29年度から給付型を始めた。先進自治体でも独自の制度が広がっている。

答弁 本市では休止状態だが、導入についてどのように考えているのか伺う。



意見 国は平成30年4月から大学等の新入生に給付型奨学金を本格実施する予定だが、対象が2万人と小規模で制限も多い。国や先進自治体の動向を注視するだけでは不十分だ。本市でも復活させるよう強く求める。

鉄道連続立体交差事業について
東伏見駅周辺地区の状況を問う

二木 孝之 (民進)

質問 鉄道の立体交差事業の推進を図るため、東伏見駅周辺のまちづくり構想の策定に取り組みと示されてから1年9カ月が経過した。事業の進捗状況と今後の予定について示せ。

答弁 事業主体の東京都が、構造形式や施行方法の検討を進めている。市の事業費負担は1km当たり数十億円規模と見込まれており、平成29年度中に連続立体交差事業を見据えた東伏見駅周辺のまちづくり構想を策定する予定である。

質問 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、定例会ごとに東京都基準に補助制度を正すよう提言してきた。近隣自治体と本市の利用実績について示せ。

答弁 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、定例会ごとに東京都基準に補助制度を正すよう提言してきた。近隣自治体と本市の利用実績について示せ。



田無駅南口

小学校の飼育動物教育を推進し
優しさと生命尊重の心を育成！

森 信一 (民進)

質問 動物を飼育する経験は、子どもたちの情操を高め、将来の人間性の完成に良い影響を与えるものであると考えるが、見解と今後の取り組みを問う。

教育長 今後も引き続き、飼育活動及び命を大切に育てる教育の充実を図り、市内小学校における生命尊重教育の一層の充実を努め、豊かな心の育成を推進する。

その他質問等 〇はなバス停留所の夜間照明設置を検討せよ。

〇7桁の郵便番号をもっと活用して、日常の住所記載欄を簡素化できないか。

〇市民会館の今後のあり方の検討は、より多くの利用者の意見を集め、時間をかけて進めるべきである。

〇保育園等入園者と家庭内で保育しているお子さんの税金充当額の格差について、

今後議論を進めよ。

〇(仮称)子ども条例制定には、子どもの意見聴取も大切だが、大人の理解を得ることが重要である。

〇平成30年度から田無駅南口の駅前開発が始まる。にぎわいのある駅前広場を目指して整備してほしい。

〇市内中学生が公平な環境で教育を受けるためにも、隣接校の学区を見直し、生徒数の均整化を図るべきと考える。